

⑪公開特許公報(A)

昭54—65528

⑤Int. Cl.²
G 03 B 27/32
G 03 B 21/11
G 03 G 15/00

識別記号 ⑥日本分類
103 C 21
103 D 1
103 K 12

厅内整理番号
6239—2H
6401—2H
6805—2H

⑦公開 昭和54年(1979)5月26日
発明の数 1
審査請求 未請求

(全 11 頁)

⑧可変倍率リーダー・プリンター装置

⑨特 願 昭52—132251
⑩出 願 昭52(1977)11月4日
⑪發明者 山崎貞一
東京都世田谷区羽根木町一丁目
12—5

⑫發明者 斎藤英一

横浜市緑区たちはな台2の9の
1

⑬出願人 富士ゼロツクス株式会社
東京都港区赤坂3丁目3番5号

⑭代理人 弁理士 米原正章 外1名

明細書

⑮発明の名称

可変倍率リーダー・プリンター装置

⑯特許請求の範囲

フィルム1の映像をスクリーン2、感光体3のどちらか一方に投影できるようにしたりーー・プリンター装置において、フィルム1が複数されるフィルム取せ台4を備えた複数台5、7を変速機構を介して歯車駆に伝達し、投影像の倍率を変更する第1・第2拡大レンズ20₁、20₂のどちらか一方を所定位置に移動可能に構成すると共に、該第1・第2拡大レンズ20₁、20₂の切替手段と前記変速機構とを相互に連動して切替作動する如く機械的に連係したことを特徴とする可変倍率リーダー・プリンター装置。

⑰発明の詳細な説明

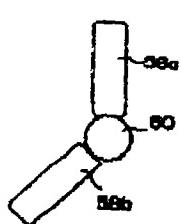
本発明はスクリーン上にマイクロフィルムの像を投影して、観察し、また投影を消去してマイクロフィルムと感光体を移動しながらマイク

ロフィルムの像を感光体に投影して複写する可変倍率リーダー・プリンター装置に関するものである。

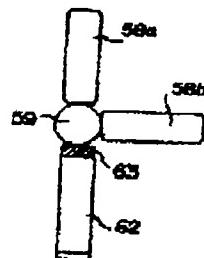
一般に、マイクロフィルム(以下フィルムとする)の映像サイズに関する規格は無数の種類がある。またフィルムは被写体の種類、大きさにより複数の縮少率があり、そのためフィルムに記載された面積のサイズが一定していない。また複写用紙として異なる大きさを選ぶことができる場合、必要なとする投影拡大倍率が異なり一定しない。

1例として、マイクロフィルムの規格として広く利用されているNMA(National Microfilm Association)またはANSI(American National Standard Inc.)のA1規格の1面の大きさは10mm×12.5mmであり、また同A3規格では11.75mm×16.5mmである。既に310mm×297mmの大きさをもつA4用紙の大きさを被写体としてNMA-A1規格に適用する場合の縮少率を25分の1とすれば1面の

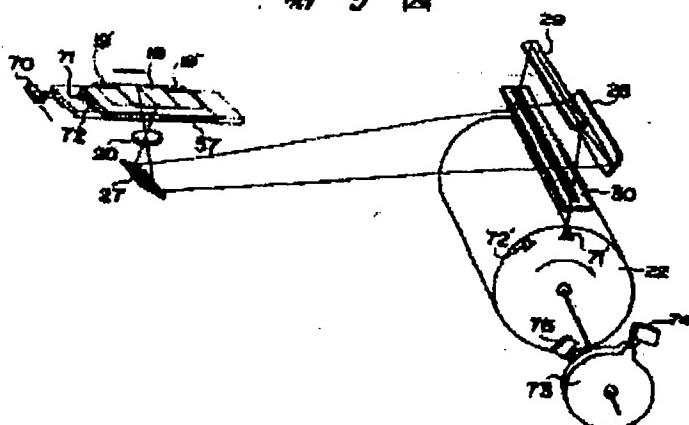
第 8 四



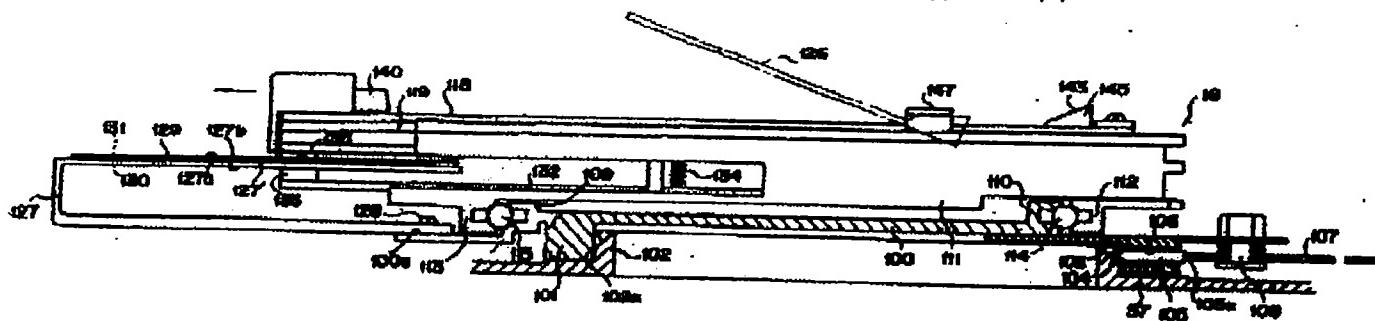
第 7 圖



第 9 圖



第10圖



第12回

